



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

歯舞小・花咲小の児童 アサリ掘り体験学習

7月16日、歯舞小中学校小学1・2年生と花咲小学校1年生の計73人を対象とした「アサリ掘り体験学習」がトーサムポロ漁港にて行われました。

この体験学習は、歯舞地区マリンビジョン協議会が、「自然の美しさ、大切さを実感し、育つ場所、変化、成長の様子に関心を持ち、それらが生命を持っていること、成長していることを気付かせること」を目的として、毎年継続実施しているものです。

子供たちは、歯舞漁協職員にコツを教わりながらアサリ掘りに熱中。歓声を上げながらアサリ掘りを楽しみ、中にはバケツから溢れる程のアサリを手にした児童もいました。



岩手県など5県の中高生らが歯舞市場見学

(独)北方領土問題対策協会の平成27年度北方領土青少年等現地視察支援事業の一環で、7月末～8月中旬にかけて岩手県、岡山県、熊本県、鹿児島県、香川県の中高生(合計87名引率含む)が歯舞市場を訪れ、その日に揚がった魚についての説明を受けたり、セリの見学等を行いました。中高生らは写真やメモを取りながら、市場関係者の説明に熱心に耳を傾けていました。

見学後は、歯舞漁協の食堂で朝食を食べました。メニューには花咲蟹のてっぽう汁、むすび昆布、いくら、北海しまえび、紅鮭など歯舞で水揚げされた食材を使用した料理が並び、特に人気が高かったのは、てっぽう汁といくらでした。



歯舞の潮干狩り 一般開放始まる

豊里地区トーサムポロ漁港東側で「歯舞の潮干狩り」が7月31日から始まりました。

初日となったこの日は午前9時からセレモニーが行われ、歯舞漁協 小倉啓一組合長の挨拶で潮干狩りがスタート。市内の家族連れや夏休みなどで帰省した市民ら約100人が参加し、各所に分散して潮干狩りを楽しみました。

今年はこの他に8月14日、15日にも開催し、いずれも予約で定員が埋まるほどの人気ぶりでした。



歯舞漁協 伊藤康彦専務理事が講演 北方領土問題教育指導者現地研修会



北方領土問題対策協会主催の北方領土問題教育指導者現地研修会が8月4日、5日に根室市内で行われました。

全国の教諭や教育委員会職員らを対象に実施しているもので、今回は全国から約80人が参加し、その中で歯舞漁協の伊藤康彦専務理事は「北方領土問題未解決による北の海の現状」と題し、講演しました。ほかにも、根室、根室西高校生による出前講座などが開催され、参加者は北方領土に対する知識を深めました。

長崎県上五島町漁協と人事交流

7月27日から31日までの5日間、「北と南の交流事業」として長崎県の上五島町漁協に歯舞漁協職員を派遣し人事交流を行いました。平成19年より継続実施し、今年で9年目を迎える取り組みです。

上五島町漁協では、五島列島で獲れる魚に厳しい鮮度保持処理基準を設けて「五島箱入娘」と銘打って出荷し、都市圏を中心に好評を得ています。

5日間の研修では、水揚げされた鮮魚の活じめや神経抜きなどの鮮度保持処理方法を学んだほか、近隣漁協でマグロやブリの養殖の見学も行い、大変有意義な研修となりました。



編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

